

こみゆにていー戸隠

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 羽場 謙一 【令和 5年 1月20日 発行】

〒381-4102 長野市戸隠豊岡 1554 tel.(026)254-2490 fax.(026)254-2327



雪おろしの注意点などを聴講しました

地域振興 委員会

安全な雪おろしのために 研修会を開催

地域振興委員会では十一月十三日に、長岡技術科学大学の 上村靖司(かみむらせいじ)教授を講師に迎え、「雪おろし対策塾」を開催しました。この研修会は屋根の雪おろしを安全に実施するための手順や注意点について、講師が実技を交えながら指導するもので、当日は

地域振興委員や区の役員、民生児童委員など三十人が参加しました。最初に雪に関する事故状況について話がありました。それによると、雪に関する事故の六十二%が雪おろし等による屋根からの転落事故で、命綱の装着が重要とのことでした。そのため屋根に命綱用のアンカーを設置することや、転落防止用の安全帯(ハーネス)の装着が欠かせないとのことです。また、ハシゴから屋根への安全な乗り移り方法や屋根の危険な箇所等についても説明がありました。さらに、命綱として使うロープの結び方や安全帯の装着方法などの実技指導もあり、参加者は雪おろし作業が危険であることを認識し、真剣に取り組んでいました。なお、住民自治協議会では、貸し出し用の安全帯を三セット用意しています。

やまざと

区の課題解決 に助成金

「やまざと支援交付金事業」では、各区の課題解決を対象とする事業に二万円を限度として助成金を交付しています。今年は、殺鼠剤や除草剤の購入費用、区内の草刈りに係る経費、有害鳥獣対策用のロケット花火購入費用など、地区内すべての区から要望があり、総額二十七万円余りの助成金を交付しました。



ロープの結び方など実技指導を受けました

高千穂町

町制施行百周年

記念式典

戸隠地区（旧戸隠村）と姉妹町村の盟約を結んでいる宮崎県高千穂町は、十月三十日に町制施行百周年の記念式典を挙行し、宮崎県知事をはじめ地元選出の代議士、周辺市町村長など三百名が出席して盛大に執り行われました。

戸隠地区からは住民自治協議会の羽場会長と戸隠支所の宮川支所長が出席しました。

式典では高千穂町百年のあゆみが紹介されたほか、町政に尽力された方々の表彰、記念ソングの披露などがありました。前日には歓迎レセプションが開催され、アトラクションでは高千穂夜神楽や刈干切唄などの民謡が披露されました。



式典では 100 周年記念ソングが披露されました

災害見舞金を

届けました

高千穂町では九月十八日に大型の台風十四号が接近し、高千穂峡など観光名所を中心に甚大な災害が発生しました。九月三十日に開催された住民自治協議会の高千穂町交流協議会（高千穂町とのホームステイ

等、交流事業について協議する組織）では、見舞金を贈ったかどうかという提案があり、委員が所属する組織毎に検討することになりました。

その結果、戸隠住民自治協議会、戸隠観光協会、戸隠小学校、戸隠中学校から見舞金やメッセージを贈ることとし、会長、支所長が町制施行百周年記念式典に出席する際に、高千穂町へ届けることになりました。



台風 14 号による甚大な災害が発生しました



記念式典の開式前に甲斐町長へ手渡しました

見舞金は、百周年記念式典の開会前に、羽場会長が高千穂町の甲斐町長へ直接手渡ししました。甲斐町長は「台風十四号災害復旧のために、有意義に活用させていただきます」と御礼を述べられました。

後日、高千穂町及び高千穂町の小中学生から住民自治協議会、戸隠観光協会、戸隠小学校及び戸隠中学校へ感謝とお礼の書面等が届きました。

青少年健全育成推進大会



講師の井上栄一さん

戸隠竹細工

過去から未来へ

十一月二十一日に青少年健全育成推進大会が戸隠小学校で開催され、小中学生や学校関係者など百三十人が出席しました。今回は戸隠中社で竹細工店を営み、戸隠竹細工の振興と継承、普及に努めている井上栄一さんが「戸隠の竹細工は過去から未来へ」と題し、講演を行いました。この中で井上さんは、戸隠竹細

工の始まりから現在までの経緯を話し、「スキー場の開設に合わせ、産業の中心が観光業になったが、戸隠竹細工は絶えることなく技術が継承されており、その魅力を現在に伝えることができている。若い人が職業の選択肢に戸隠竹細工を選んでもらえるよう、日々活動している」と述べ、小中学生に、後継者育成への思いを伝えました。



小中学生や学校関係者などが聴講しました

地区懇 ぷらす 情報交換会

中学校部活動の 地域移行 を考える

今年度二回目の地区懇談会。ぷらす情報交換会が、十一月四日に戸隠農村環境改善センターで開催され、保育園、小中高校の保護者や職員、学校関係者など四十九人が参加しました。今回は「中学校部活動の地域移行」を懇談テーマとし、はじめに市教育委員会の担当者から市の方針が説明され、それをもとに意見交換をしました。

市では、中学校の先生が顧問をしている部活動について、「令和七年度を目途に地域の多様な実施主体の皆さんに移行する方針」というこ



地域移行に向けた課題などを意見交換しました

で、その場合の受け皿となる戸隠地区の実施主体や課題などについて、意見が出されました。また、戸隠中学校の部活動の現状について報告があり、その中では、競技大会への出場は目指さないが、様々な種目のスポーツを体験することができると「総合スポーツ部」の活動についても報告がありました。今後は戸隠でも中学生の部活動を地区で支える体制づくりに向けた検討が必要となります。

地域たすけあい事業

事業の概要を

お知らせ

十二月八日の「青空の会」では「地域たすけあい事業」について、当該事業の調整をしている小池コーディネーターが事業概要について説明をしました。この事業は、長野市社会福



コーディネーターが事業概要をお知らせしました

祉協議会と各地区の住民自治協議会が協働により実施しており、高齢者等が日常生活で困った時に、地域の住民が有償で雪かきや食事づくり、掃除などの家事、病院等への送迎をお手伝いするものです。

戸隠地区では現在八十五名の方が利用しています。

事業に関することや利用の申込みは、戸隠地区住民自治協議会（電話二五四―二四九〇）

へお問い合わせください。

すみれ会

クリスマス会で

ミニツリー作り

高齢者等の通いの場として毎週水曜日に開催している「すみれ会」では、十二月二十一日、しようまの家でクリスマス会を行いました。当日は十二人が参加し、もみの木の枝を使う「ミニクリスマスツリー」作り



ミニクリスマスツリーが完成しました

に挑戦しました。最初に担当者が作り方を説明した後、作成に取りかかりました。「それいいね！」「そこは、どうやったの？」など、お互いの作品を見ながら時間を忘れてツリー作り熱中し、世界にひとつだけの素敵な「ミニクリスマスツリー」を完成させました。

その後のビンゴゲームでは景品のクリスマス小物のプレゼントがあつたり、みんなでお昼を食べたりと、楽しいクリスマス会になりました。

地域福祉ワーカー

からさわ

柄澤です



十二月から住民自治協議会で地域福祉ワーカーをしております柄澤と申します。右も左も上も下もわかりませんので、皆様のご指導をいただきますよう、お願いいたします。

常に笑顔で明るい挨拶を心掛けております。お気軽に「からさわ！」でも「ワーカー！」でも結構ですので、お声を掛けてください。そしていろいろ楽しいお話を聞かせてください。皆様といろいろなお話ができることを楽しみにしております。

これから、どうぞよろしく
お願い申し上げます。